

学域名	人間社会学域
学類名	国際学類
コース名	ヨーロッパコース

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）				コースのディプロマ・ポリシー（学位授与方針）			
グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会への洞察力を持ち、異文化との「しなやかな共生」を実現できる眞の国際人を育成することを目的とし、外国・異文化への関心と探求心、コミュニケーション能力を持ち、将来的国際業務で活躍できる人材を育てる。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた人材養成目標への到達を通じて、この学類の人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与する。				ヨーロッパとその周辺地域」に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実践的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の自指している。価値の多様性を踏まえた文化的観の精神を体得した眞の国際人を育成する。こうした人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与する。この人材育成目標に到達するためには、以下の学習成果を上げることが求められる。			
学類およびコースのOP(カリキュラム構成方針)				コースの学習成果(○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)			
【学類のCP】必修科目（「国際学入門」、「日本文化」、「卒業論文」）、専門基礎選択必修科目（国語・社会系10単位、日本文化系8単位、英語系12単位）、専門選択必修科目（24単位必修）、選択科目（「インターナショナル」「異文化体験実習」を含む22単位）など、多彩な科目を設定し、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成のために、少人数でおこなう演習を中心とした、課題探求型の自己学習を指導する。【コースのCP】現代ヨーロッパ社会論、ヨーロッパ生活論、また各教員の担当する特論・演習への参加を通じて、中東海地域を含むヨーロッパ圏の文化・歴史・政治・経済・社会を、一段と深く戦略的視点から考察する意識を育てるることを目指している。またそうした知識を踏まえ将来この地域を担当する実務家として活躍する基礎的技能として、ドイツ語・フランス語・スペイン語等のコミュニケーション科目により、言語の実践的運用能力を高められるよう配慮している。				ヨーロッパの関心に、自身のキャリアパスとオーバーラップするのみならずその周辺諸地域（中央アフリカ圏、中南米地域）の社会・文化の理解のため、複眼的に世界を見る目を有している。			
コース(攻)のカリキュラム				ヨーロッパのみならずその周辺諸地域（中央アフリカ圏、中南米地域）の社会・歴史や日本語についての視点から客観的に観察できること態度と能力を獲得している。			
科目番号	授業科目名	学生の目標の学習	年 前 後	1	2	3	4
16001	国際学入門	国際学の概要・基礎的概念を把握する	*	◎			
16002	国際政治史A	近代東アジア地域の国際関係の展開過程を理解する。	*	△	△	△	○ ◎
16003	国際政治史B	暗記の歴史を極力排除する。歴史過程は一定の合理性と法則性の元に進行することを学ぶ。ヨーロッパ理解の基礎を構築する。	*	◎	◎		△
16004	国際関係論	主として戦後の国際政治の展開と現状を理解する	*	○			○ △
16004	国際関係論	国際政治全体についての理論を検討する。次いで、ここでのテーマ、南北問題、環境問題、地域主義などのグローバルなテーマを理解する。それから、アメリカ、ヨーロッパ、中東を取り上げ、そこでの内政、国際関係を理解する。	*	○	○		○
16005	国際コミュニケーション論	主としてスマートメディアに構成された自分たちの知識の源泉を今一度聞いてみる。我々の価値観なども日本のイメージによって形成されていることを学ぶ。國際人として、自國の枠組みにのみに囚われずに、国際的な基準で、公正に、公平にこだわらざる判断する力を身につけることを目標とする。	*				
16006	国際経済学	国際経済学の基本的モデルを修得する。この理解を通して、具体的な貿易利益、貿易政策の経済効果、国際的分業パターン、国際間労働・資本移動などの個々の事例を理解する。	*				◎
16007	世界システム論	1. 政治・経済・文化の一体化した現実を、それの侧面に解きほぐしながら、また全体としてとらえ、分析する能力を身に付ける。 2. 世界システムが個々の国や社会のあり方を規定する仕組みを学ぶ。	*	◎			○ ○
16008	国際貿易論	国際貿易の基礎的知識を身につける	*	○			
16008	国際貿易論	グローバル化の現状の下で、新たな国際貿易の相互依存関係を学ぶ。日常生活における国際貿易に関するさまざまな問題を適正に理解し、判断する力を修得する。	*	○	△		○
16009	国際協力論	国際協力・对外援助の必要性と実態を理解する	*				○
16010	異文化理解	国際的事象を対象的な視点から考察する能力と方法論を獲得する。	*				◎ ◎ ◎
16037	国際経済学概論	グローバル化が進む現在、日本と世界がどのようにつながっているのか、また国際経済問題を考えるためにはどのような視点が必要なのか、その基礎的な知識や理論を学ぶ。	*	○			○
16011	日本文化	戦後の代表的な日本人論・日本論に関する知識を修得するとともに、日本人の見方を身につける	*				○
16012	日本の思想・宗教	神と仏との関係を外国人に説明できるようになる	*				○
16013	日本史概説	日本の近世史・近現代史に関する理解を深める	*				◎
16014	日本経済論	日本資本主義の変遷を開拓して、日本経済の今日的課題を分析・説明する視角を身につける。	*				○
16015	日本の伝統芸能	日本の伝統芸能の形成と展開を概観し、継承・保存の問題を考える力をつける	*				○
16016	日本政治・外交史	幕末維新期～昭和戦前期の日本政治・外交の展開過程を理解する。	*	△	△	△	△ ◎
16017	日本政治・外交論	・英語のリーディングやリスニングを上達させる。・政治学及び国際関係の専門用語を紹介する。・国際的な観点から、日本の政治・外交を理解する。	*	△	△	△	△ ◎
16018	日本の言語と文化	日本人の言語行動を支配する社会文化的なルールについての意識を獲得するとともに、他の国々の言語と文化を比較できるようになる。	*				△
16019	日本民俗文化論	日本は長い歴史の中で海外の様々な国の文化と出会いながら、日本独自の伝統文化を築き上げてきたことを、主に明治時代以降の日米間の関係を中心に理解する。	*				△
16020	日本語学概論	主として現代日本語について、外国人に対する日本語教育や日本本人のための国語教育について必要な日本語の基礎知識を音声、語彙、文法、文字表記などの文野ごとに身につけ、日本語への理解と直感を深めることができる。	*				△
16021	日本語教育学基礎	・日本語教育をグローバルな視野で概観できる。 ・日本語教育の視点から、現在、世界や日本で起こっている現象を理解する。 ・外国人から見た日本語についてや、日本語を外国语として教えるための基礎的な事項を理解する。	*			○ △ ◎ ◎	
16022	日本の文学	日本の文学伝統を具体的に理解する	*				○ △ ◎
16023	日本の古典文学	日本の古典文学に関する基礎的な知識を獲得すると共に、その受容の歴史について理解を深める	*				○
16024	日本の近現代文学	語りや視点を意識して文学作品を読み解く意識付けができるようになる	*				○
16038	日本文化体験A	留学生とともに日本、特に石川県内に様々な形で伝わられる伝統文化、伝統芸能などについて体験を通してその魅力を学ぶ	*				△
16039	日本文化体験B	留学生とともに日本、特に石川県内に様々な形で伝わられる伝統文化、伝統芸能などについて体験を通してその魅力を学ぶ	*				△
16025	翻訳理論 I	受講生はまずは、英文を正確にかつき密に読む力が養われる。また、日本語らしい日本語に置き換えるためのさまざまな工夫も身につく。	*	△		△	○
16026	翻訳理論 II	受講生はまずは、英文を正確にかつき密に読む力が養われる。また、日本語らしい日本語に置き換えるためのさまざまな工夫も身につく。	*	△		△	○
16027	英語パブリックスピーチинг IA	様々な発話形態に応じた必要な基本的能力を身につける。	1~2 *	○			○
16028	英語パブリックスピーチング IB	様々な発話形態に応じた必要な基本的能力を身につける。	1~2 *	○			○
16028	英語パブリックスピーチング II A	様々な発話形態に応じた必要な基本的能力を身につける。	1~2 *	○			○
16030	英語パブリックスピーチング II B	様々な発話形態に応じた必要な基本的能力を身につける。	1~2 *	○			○
16031	英語表現法 IA	文法事項のおおらいに始まり、かなり内容のある英文を読んだり、エッセイライティングをおこなうまでのライティングの力を身につける。	1~2 *	△			○
16031	英語表現法 IA	1.To improve reading, speaking, listening and writing in English. 2.To learn to participate actively in an all-English environment. 3.To develop a clear understanding of various international perspectives and varying Japanese perspectives related to Japan's political history.	1~2 *	△	△	△	◎ ◎
16032	英語表現法 IB	文法事項のおおらいに始まり、かなり内容のある英文を読んだり、エッセイライティングをおこなうまでのライティングの力を身につける。	1~2 *	△			○
16033	英語表現法 II A	文法事項のおおらいに始まり、かなり内容のある英文を読んだり、エッセイライティングをおこなうまでのライティングの力を身につける。	1~2 *	△			○

学域名	人間社会学域
学類名	国際学類
コース名	ヨーロッパコース

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）				コースのディプロマ・ポリシー（学位授与方針）			
グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会への洞察力を持ち、異文化との「しなやかな共生」を実現できる眞の国際人を育成することを目的とし、外国・異文化への関心と探求心、コミュニケーション能力を持ち、将来的国際的業務で活躍できる人材を育てる。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた人材養成目標への到達を通じて、この学類の人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与する。				ヨーロッパとその周辺地域」に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実践的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の自指している。価値の多様性を踏まえた文化的観察の精神を体得した眞の国際人を育成する。こうした人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与する。この人材育成目標に到達するためには、以下の学習成果を上げることが求められる。			
学類およびコースのOP(カリキュラム構成方針)				コースの学習成果(○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)			
【学類のCP】必修科目（「国際学入門」、「日本文化」、「卒業論文」）、専門基礎選択必修科目（国語・社会系10単位、日本文化系8単位、英語系12単位）、専門選択必修科目（24単位必須）、選択科目（「インターナショナル」「異文化体験実習」を含む22単位）など、多彩な科目群を設定し、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成のために、少人数でおこなう演習を中心とした、課題探求型の自己学習を指導する。				【コースのCP】現代ヨーロッパ社会論、ヨーロッパ生活論、また各教員の担当する特論・演習への参加を通じて、地中海地域を含むヨーロッパ圏の文化・歴史・政治・経済・社会を、一段と深い戦略的視点から考察する意識を育てるることを目指している。またそうした知識を踏まえ将来この地域を担当する実務家として活躍する基礎的技能として、ドイツ語・フランス語・スペイン語等のコミュニケーション科目により、言語の実践的運用能力を高められるよう配慮している。			
コース(専攻)のカリキュラム				ヨーロッパののみならずその周辺諸地域（中央アフリカ圏、中近東アフリカ圏、南米地域）の社会・文化の理解のため、複眼的に世界を見る力と、労働の場を広く見て、その態度を獲得している。			
科目番号	授業科目名	学生目標の学習	学年	前期	後期	ヨーロッパのみならずその周辺諸地域（中央アフリカ圏、中近東アフリカ圏、南米地域）の社会・文化への旺盛な関心のもと、日本文化についての観察から客観的に観察できる態度と能	他者への及び多文化への旺盛な関心のもと、日本語についての観察から客観的に観察できる態度と能
16034	英語表現法ⅡB	文法事項のおさらいに始まり、かなり内容のある英文を読んだり、エッセイライティングをおこなうまでのライティングの力を身につける。	1~2	*	△	○	○
16035	英語コミュニケーションⅠ	みずからの目的に応じて、英語コミュニケーション能力が増強できる。	1~2	*	△	○	○
16036	英語コミュニケーションⅡ	みずからの目的に応じて、英語コミュニケーション能力が増強できる。	1~2	*	△	○	○
51401	西洋近・現代史概説	近代ヨーロッパにおける民主主義、民族主義発展の諸相を考察し、近代国家ないしは市民社会の本質につき理解を深める	2	H22	○	◎	○ ○
51402	西洋経済史A	近代から現代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによつて、 1. 経済的な分析手法の基礎を習得することができる。 2. 現在のヨーロッパ経済の歴史的基本を理解することができる。	2		H22	◎	○
51403	西洋経済史B	古代から近代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによつて、 1. 経済史から経済学にアプローチする手法を身に付けることができる。 2. 現在のヨーロッパ経済の歴史的基本を理解することができる。	2	H22		○	
51404	現代ヨーロッパ社会論	ヨーロッパの現代社会が抱えているさまざまな問題についての分析・議論を通じて現代ヨーロッパについての理解を深める。それと同時に日本の現代社会への視座も獲得する。	2	H22		◎	◎
51405	ヨーロッパの宗教	ヨーロッパの宗教、特にキリスト教についての知見を広げ、ヨーロッパをよりよく理解できるようにする。	2	H22	◎	○	△ △
51406	社会思想史A	現代社会が抱える自由・平等・人権・マイナリティ問題等を考えるさいの方法的視野を広げる。	2	H22	○	◎	△
51407	社会思想史B	現代社会が抱える自由・平等・人権・マイナリティ問題等を考えるさいの方法的視野を広げる。	2	H22	○	◎	△
51408	ヨーロッパ経済統合論A	EU統合の歴史と制度の検討を通して、EUとは何か、EUは何をめざしているのかを理解する。	2	H22		○	○
51409	ヨーロッパ経済統合論B	EUの経済通貨統合の歴史と現状の検討を通してユーロ・システムの課題と展望を理解する。	2	H22	◎		○
51410	美術史 I	西洋美術の流れを模式史として把握するとともに人間と美術の關係を歴史的背景の中で考察できるようにする。	2	H22		○	
51411	美術史 II	西欧におけるルネサンス美術について、その時代背景を踏まえて、作品の主題と表現を考察できるようにする。	2	H22		○	
51412	ヨーロッパ社会言語学	母語の言語行動の明確性を対照化し、異文化間コミュニケーションの問題に関するものとする。	2	H22			△ △ △
51413	ドイツ文学史A	ドイツ文学の歴史（ロマン主義まで）についての知見を獲得し、ドイツ文化をよりよく理解できるようとする。	2	H22		○	
51414	ドイツ文学史B	ドイツ文学の歴史（実業主義から）についての知見を獲得し、ドイツ文化をよりよく理解できるようとする。	2	H22		○	
51415	フランス文学史A	フランス文学にどんな作品があり、どんな特徴があるのかを、歴史的背景をふまえて確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解する。他ジャンルの芸術との関連も考察する。	2	H22		○	
51416	フランス文学史B	フランス文学にどんな作品があり、どんな特徴があるのかを、歴史的背景をふまえて確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解する。他ジャンルの芸術との関連も考察する。	2	H22	◎	○	○
51417	音楽史A	西洋音楽の基本的な用語を復習した上で、古代、中世、ルネサンス、バロック、ロマン派、近現代の音楽の時代的、地域的特徴を学び、音楽表現の表現や鑑賞の指導に音楽史の知識を活用できるようとする。	2	H22		○	
51418	ヨーロッパ生活論	ヨーロッパの生活習慣、年中行事、文化などを知ることにより、ヨーロッパをよりよく理解できるようになる。	2	H22		○	△ △
51419	ヨーロッパ研究特論A	飲食表象およびそれと関連した形での風景の表象の歴史的社会的構築課程とその姿容の歴史的批判的検討を通して、以下に2つのことを学んでほしいと思います。1)ヨーロッパの飲食文化の在り方を、その文化的価値の面を軸に多面的に理解する。2)見過ごされながら日常的な文化現象について、その後に作用する近代イオロギーへの批判的な眼差しを養う。	2~4	H22	○	○	
51420	ヨーロッパ研究特論B	飲食表象およびそれと関連した形での風景の表象の歴史的社会的構築課程とその姿容の歴史的批判的検討を通して、以下に2つのことを学んでほしいと思います。1)ヨーロッパの飲食文化の在り方を、その文化的価値の面を軸に多面的に理解する。2)見過ごされながら日常的な文化現象について、その後に作用する近代イオロギーへの批判的な眼差しを養う。	3~4		○	○	
51421	ヨーロッパ国際理解A	フランスとの相互関係が重要な意味を持つマグレブ地域の歴史、社会、文化について理解を深めさせます(船谷)	2	H22			◎ ○
51421	ヨーロッパ国際理解A	ドイツの文化・社会についての知識を深める。	2	H22	○	○	○
51421	ヨーロッパ国際理解A	フランスとの文化についての知識を深める。フランス語圏諸地域の基本的知識を得る。	2	H22		○	◎
51422	ヨーロッパ国際理解B	イタリア史についての基本的知識を習得させる(石黒)	3	H22		○	
51422	ヨーロッパ国際理解B	ドイツ語の書かれた文学テキストを読むことで、ヨーロッパ文化に対する理解を加深する。	3	H22		○	△ ○
51422	ヨーロッパ国際理解B	フランスの文化についての知識を深め。フランス語圏諸地域の基本的知識を得る。	3	H22		○	○
51423	ドイツ語解釈基礎	ドイツ語の基礎的な読解力を習得する。	2	H22		○	
51423	ドイツ語解釈基礎	ドイツ語の基礎的な読解力を習得する。	2	H22		○	△
51424	ドイツ語コミュニケーション1	ドイツ語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。	2	H22		○	○
51425	ドイツ語コミュニケーション2A	ドイツ語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。	2	H22		○	△
51426	ドイツ語コミュニケーション2B	ドイツ語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。	2	H22		○	△
51427	ドイツ語コミュニケーション3A	ドイツ語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。	3~4	H22		○	△
51428	ドイツ語コミュニケーション3B	ドイツ語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。	3~4	H22		○	△
51429	ドイツ語コミュニケーション4	ドイツ語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。	3~4	H22		○	△
51430	ドイツ語表現法	ドイツ語の基礎的な作文能力を習得する。	3~4	H22		○	△

学域名	人間社会学域
学類名	国際学類
コース名	ヨーロッパコース

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）				コースのディプロマ・ポリシー（学位授与方針）			
グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会への洞察力を持ち、異文化との「しなやかな共生」を実現できる眞の国際人を育成することを目的とし、外国・異文化への関心と探求心、コミュニケーション能力を持ち、将来的国際的業務で活躍できる人材を育てる。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた人材養成目標への到達を通じて、この学類の人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与する。				ヨーロッパとその周辺地域」に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実践的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の目指している、価値の多様性を踏まえた文化的観の精神を体得した眞の国際人を育成する。こうした人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与する。この人材育成目標に到達するためには、以下の学習成果を上げることが求められる。			
学類およびコースのOP(カリキュラム構成方針)				コースの学習成果(○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)			
【学類のCP】必修科目（「国際学入門」、「日本文化」、「卒業論文」）、専門基礎選択必修科目（国語・社会系10単位、日本文化系8単位、英語系12単位）、専門選択必修科目（24単位必修）、選択科目（「インターナショップ」、「異文化体験実習」を含む22単位）など、多彩な学び方を設定し、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成のために、少人数でおこなう演習を中心とした、課題探求型の自己学習を指導する。				ヨーロッパのみならずその周辺諸地域（中央アフリカ圏、中近東アフリカ圏、南米地域）の社会・文化の理解のもと、複眼的に世界を見る目を有している。			
【コースのCP】現代ヨーロッパ社会論、ヨーロッパ生活論、また各教員の担当する特論・演習への参加を通じて、地中海地域を含むヨーロッパ圏の文化・歴史・政治・経済・社会を、一段と深い戦略的視点から考察する意識を育てることを目指している。またそうした知識を踏まえ将来この地域を担当する実務家として活躍する基礎的技能として、ドイツ語・フランス語・スペイン語等のコミュニケーション科目により、言語の実践的運用能力を高められるよう配慮している。				ヨーロッパのみならずその周辺諸地域（中央アフリカ圏、中近東アフリカ圏、南米地域）の社会・文化の理解のもと、複眼的に世界を見る目を有している。			
コース(専攻)のカリキュラム				ヨーロッパのみならずその周辺諸地域（中央アフリカ圏、中近東アフリカ圏、南米地域）の社会・文化への旺盛な関心のもと、日本語についての視点から客観的に觀察できる態度と能力を獲得している。			
科目番号	授業科目名	学生の目標の学習	年 前 後	現代ヨーロッパの政治・経済・文化について、将来の専門職業人として活動するに相応しい、基礎的知識を習得している。	現代に生きる創造力ある世界であると共に、歴史と伝統の深い根を有する世界であるヨーロッパ文化を学ぶ者として、これまでのヨーロッパ文化が産み出された背景や、文学、芸術等の歴史的価値に対しそれを理解する豊かな感受性を備えている。	それぞの関心に従って仏・独・西語に各言語の代表的検定試験（実用フルネス語検定技能試験、ドイツ語技能検定、スペイン語技能検定）2級程度。即ち国際的な場で働く意欲のある学生に要求されるコミュニケーション力（書籍）でスムーズに到達できる基礎的読解力を修得している。	自身のキャリアパスと並んで、単に日本に固い進路をプロデュースできる職業設計能力を育んでいる。
51431	フランス語演習(読む・書く)A	現代フランス事情に通じる。自然なフランス語によるコミュニケーション能力のファーストステップを身につける。現場で役に立つ形で文法をおさらい発展させる。将来国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。フランス語話者の書いて「言って」いることの真意が実感をもって分かれる。これらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。フランス語と英語を開闢付け相乗効果で両言語の能力をアップさせる。	2 H22	△	◎	△	
51432	フランス語演習(読む・書く)B	現代フランス事情に通じる。自然なフランス語によるコミュニケーション能力のファーストステップを身につける。現場で役に立つ形で文法をおさらい発展させる。将来国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。フランス語話者の書いて「書いて」いることの真意が実感をもって分かれる。これらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。フランス語と英語を開闢付け相乗効果で両言語の能力をアップさせる。	2 H22	△	◎	△	
51433	フランス語演習(聞く・話す)A	・日常生活におけるコミュニケーション能力を向上させる。 ・簡単な文章を書いたり話したりするための表現力を伸ばす。 ・フランス語の文化に触れたなら異文化問題について考える。	2 H22	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
51434	フランス語演習(聞く・話す)B	・日常生活におけるコミュニケーション能力を向上させる。 ・簡単な文章を書いたり話したりするための表現力を伸ばす。 ・フランス語の文化に触れたなら異文化問題について考える。	2 H22	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
51435	フランス語演習(口頭表現法)A	日常生活に関するテーマで、フランス語で会話できる能力を見につける。自国の文化と異文化を比較・考える能力を見につける。	3~4 H22	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
51436	フランス語演習(口頭表現法) B	日常生活に関するテーマで、フランス語で会話できる能力を見につける。自国の文化と異文化を比較・考える能力を見につける。	3~4 H22	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
51437	フランス語演習(総合)A	現代フランス事情を知る。自然なフランス語によるコミュニケーション能力の基本を身につける。現場で役に立つ形で文法をおさらい発展させる。中級以上で国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。フランス語話者の書いて「書いて」いることの真意が実感をもって分かる。これらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。フランス語と英語を開闢付け相乗効果で両言語の能力をアップさせる。 ○自然なフランス語によるコミュニケーション能力の基本を身につける。 ○現場で役に立つ形で文法をおさらい発展させる。 ○中級以上で国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。 ○アラブ、アフリカ地域においてフランス語情報から見識を深める。 ○フランス語話者の書いて「書いて」いることの真意が実感をもって分かる。 ○これらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。 ○フランス語と英語を開闢付け相乗効果で両言語の能力をアップさせる。	3~4 H22	△	◎	○	
51438	フランス語演習(総合) B	現代フランス事情を知る。自然なフランス語によるコミュニケーション能力の基本を身につける。現場で役に立つ形で文法をおさらい発展させる。中級以上で国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。フランス語話者の書いて「書いて」いることの真意が実感をもって分かる。これらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。フランス語と英語を開闢付け相乗効果で両言語の能力をアップさせる。	3~4 H22	△	◎	○	
51439	スペイン語コミュニケーション A	スペイン語の基礎的なコミュニケーション能力を習得する。	2 H22		◎	○	△
51440	スペイン語コミュニケーション I B	スペイン語の基礎的なコミュニケーション能力を習得する。	2 H22		◎	○	△
51441	スペイン語コミュニケーション II A	スペイン語の基礎的なコミュニケーション能力を習得する。	2 H22		◎	○	△
51442	スペイン語コミュニケーション II B	スペイン語の基礎的なコミュニケーション能力を習得する。	2 H22		◎	○	△
51450	スペイン語コミュニケーション III A	スペイン語の基礎的なコミュニケーション能力を習得する。	3~4 H22		◎	○	△
51451	スペイン語コミュニケーション III B	スペイン語の基礎的なコミュニケーション能力を習得する。	3~4 H22		◎	○	△
51452	スペイン語コミュニケーション IV A	スペイン語の基礎的なコミュニケーション能力を習得する。	3~4 H22		◎	○	△
51453	スペイン語コミュニケーション IV B	スペイン語の基礎的なコミュニケーション能力を習得する。	3~4 H22		◎	○	△
51443	ヨーロッパ研究演習A	卒論執筆上に基礎的な技能、即ち関連文献検索、情報の整理、文章の論理的構成、注の作成等ができる。	3 H22 H22	○ ○	○	◎	
51443	ヨーロッパ研究演習A	興味あるテーマをみつける。論文、つまりほかの人の批判に耐える形の文章の書き方を習得する。	3 H22 H22		◎	△	△
51444	ヨーロッパ研究演習B	教員とのディスカッションを通じて、習得した知識を前提に独自の研究課題を発表せせる。	4 H22	○ ○	○ ○	○	
51444	ヨーロッパ研究演習B	興味あるテーマをみつける。論文、つまりほかの人の批判に耐える形の文章の書き方を習得する。	4 H22		○ ○	△ △	○
36001	インターナショップ	・民間企業や官庁・自治体、NGO・NPO等での業務内容を理解できる ・民間企業や官庁・自治体、NGO・NPO等での国際的な業務についても理解できる ・自らに適合した将来の進路を選択する能力を向上させる	3 H22	○	○	○ ○	◎ ◎
36002	卒業論文	習得した知識を踏まえ自分の專攻分野につき、問題発見／情報収集／情報分析／問題解決というモデルによって思考し、それを文章表現する技術身につける	4 H22	○ ○	○ ○	○	
別に定める	異文化体験実習 I (海外)	海外等での語学研修やボランティア活動等に参加して、コミュニケーション力を習得し、さまざまな文化に親しみ。	2~4 H22 H22		△	◎ ◎	○
36151	異文化体験実習 I (ドイツ)	ドイツでのサマーコースに参加してドイツ語のコミュニケーション力をつけるとともにドイツの文化や生活に親しみ。	2~4 H22 H22		△	◎ ◎	○
36152	異文化体験実習 I (フランス)	フランスの大学での語学研修に参加し、フランス語の運用能力を高める。フランスでの生活体験や課題の達成を通して、フランスの文化に親しみ。	2~4 H22	○ ○	○ ○	○	△
36153	異文化体験実習 I (中国)	中国社会・文化への理解の促進と中国語能力の向上	2~4 H22			○ ○	○ ○
36154	異文化体験実習 I (中国)	中国社会・文化への理解の促進と中国語能力の向上	2~4 H22			○ ○	○ ○

学域名	人間社会学域
学類名	国際学類
コース名	ヨーロッパコース

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)										
グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会への洞察力を持ち、異文化との「しなやかな共生」を実現できる眞の国際人を育成することを目的とし、外国・異文化への関心と探求心、コミュニケーション能力を持ち、将来的国際的業務で活躍できる人材を育てる。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた人材養成目標への到達を通じて、この学類の人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。											
学類およびコースのOP(カリキュラム構成方針)											
【学類のOP】必修科目(「国際学入門」、「日本文化」、「卒業論文」)、専門基礎選択必修科目(国語・社会系10単位)、日本文化系8単位、英語系12単位)、専門選択必修科目(24単位必修)、選択科目(「インター・シップ」、「異文化体験実習」を含む22単位)など、多彩な科目群を設定し、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成のために、少人数でこなう演習を中心とした、課題探求型の自己学習を指導する。											
【コースのCP】現代ヨーロッパ社会論、ヨーロッパ生活論、また各教員の担当する特論・演習への参加を通じて、地中海地域を含むヨーロッパ圏の文化・歴史・政治・経済・社会を、一段と深い戦略的視点から考察する意識を育てることを目指している。またそうした知識を踏まえ将来この地域を担当する実務家として活躍する基礎的技能として、ドイツ語・フランス語・スペイン語等のコミュニケーション科目により、言語の実践的運用能力を高められるよう配慮している。											
コース(取扱)のカリキュラム											
科 目 番 号	授 業 科 目 名	学 生 目 標 の 学 習	学 年	前 期	後 期	ヨーロッパとの周辺地域」に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実践的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の自指している、価値の多様性を踏まえた文化的観察の精神を体得した眞の国際人を育成する。こうした人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。この人材育成目標に到達するためには、以下の学習成果を上げることが求められる。	ヨーロッパの開心に従って仏・独・西語に共に、歴史と伝統の深い根を有する世界であるヨーロッパ文化を学ぶ者として、これまでのヨーロッパ文化が産み出したきた思想、文学、芸術等の歴史的諸価値に對しそれを理解する豊かな感受性を備えている。	自身のキャリア・パスとオーストラリア・アフリカ・東南アジア、中近東アラブ圏、南北米地域)の社会・文化の理解の進路をプロデュースできる職業設計能力を育んでいる。	ヨーロッパのみならずその周辺諸地域(中央アフリカ・アラブ圏、中近東アラブ圏、南北米地域)の社会・文化への旺盛な関心のもと、複眼的に世界に求められるには最も、複眼的に世界に見る目を有している。	他者への及び多文化への旺盛な関心のもと、日本語についてヨーロッパの視点から客観的に觀察できる態度と能力を獲得している。	日本の文化・社会・歴史や日本語についてヨーロッパの視点から客観的に觀察できることのできる、国際感覚と人間関係構築力を身につけている。
36155	異文化体験実習Ⅰ(イギリス)	たんなる語学研修に終わらない、イギリスに関する幅広い知識が得でき、また、イギリスの人や風土とにかく接することができる。	1~4						◎	○	
36201	異文化体験実習Ⅱ(海外)	異文化体験実習Ⅰで学んだ語学の習得	2~4	H22			◎	○		△	
36202	異文化体験実習Ⅱ(ドイツ)	異文化体験実習Ⅰで学んだドイツ語の習得	2~4	H22			◎	○		△	
36203	異文化体験実習Ⅱ(フランス)	異文化体験実習Ⅰで学んだフランス語の習得	2~4	H22	○	○	○	○	○	△	
36204	異文化体験実習Ⅱ(中国)	中国語検定試験二級合格を目指す。	2~4	H22				○		○	
36205	異文化体験実習Ⅱ(イギリス)	ケンブリッジ語学研修を通して、さらなる英語の力を身に付けるとともに、イギリスの諸文化、歴史にじかに触れることで、英国の層の厚さを理解する。	1~4		◎	○			○	○	